



No.53

2023 April  
[MISA会報 第53号]

- 賀詞交歓会
- MISA会員向けアンケート調査結果
- 第9次中期事業計画（令和5～7年度）概要
- 2023年度MISA事業計画
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp  
■URL/<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



## 令和5年賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が1月17日(火)TKPガーデンシティ仙台において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様240名を超える出席のもと開催されました。

はじめに、当協会各委員会委員長による活動のプレゼンテーション後、協会を代表し阿部会長より、新年の挨拶、引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、小原副会長の乾杯の音頭により懇談となりました。

コロナウィルス感染拡大の収束が見えない中でしたが、3年ぶりの開催ということで、懐かしさも

加わり、多くの参加をいただき終始和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは九萬原専務理事に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



## 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 阿部 嘉男



昨年6月より宮城県情報サービス産業協会会長を仰せつかっている阿部でございます。年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

皆さん、明けましておめでとうございます。令和5年の新春をこのように皆様と一緒に迎えることができました。まずもってお慶び申し上げます。

本日は、コロナ禍で3年振りとなるMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして誠に有り難うございます。

また、旧年中は当協会の事業活動に対しまして、格段のご支援ご協力を賜り誠に有り難うございました。ここ地元宮城に拠点を構える会員の皆さまはもとよりですが、他地域から宮城に進出されこの地で活躍されている皆さまにも大変お世話になっております。改めまして御礼申し上げます。

そして何よりも、コロナ感染拡大の影響により計画いたしました当協会事業計画の多くが未実施せざるを得なかったことを大変残念に思いますとともに心よりお詫び申し上げます。

さて、我が国の令和5年度の景況ですが、コロナ感染拡大の一巡による景気の回復が期待されていますが、未

曾有な世界的コロナショック、ロシア・ウクライナ紛争、米中貿易摩擦、東アジア・中東の情勢、円安など、様々なリスクを抱え景気後退による不安定な時代が続く恐れがあるともいわれています。

一方、東北経済については、一部に弱い動きがあるものの住宅着工、公共投資の高水準な推移や設備投資の持ち直し、雇用の改善等から、全体として緩やかな改善傾向にあるともいわれています。しかし新たなオミクロン株によるコロナウィルス感染拡大が続いており先行き見通しが付けにくく予断を許さない状況にもあります。

このような状況の中にあります、我々IT業界におけるビジネス環境ですが、現在、情報サービス産業は、社会の情報インフラを構築・運用する重要な役割を担い、売上高25兆円、従業員120万人超を抱える基幹産業となったとも言われており、デジタル田園都市国家構想の実現や世界レベルでの激しい変化に対応するための企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みがこれまで以上に急務となってきている中、様々な社会問題の解決に貢献することが期待されています。

これは宮城県においても顕著であり、IT産業は売上げ1千8百億円、従業員1万2千人を超え、まさに地

域経済を支える基幹産業に成長してきております。

そして今、IoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) など、最新のICTによる「第四次産業革命」が産業構造そのものを大きく変革しつつあります。

IT投資は基幹系 (SOR) からIoT、Fintech、AI、ロボティクス、ビッグデータ解析等の先端技術活用 (SOE) へと重点が移り、競争優位性の高い新たなサービスやビジネスモデルを実現する、いわゆるビジネスのデジタル化への取組が本格化しています。

また、DX時代を迎え、顧客と共に新しいビジネスを共創する仕事の増加に伴い、ITエンジニアの役割や概念も変わりつつあります。顧客の業務効率化やコスト削減がIT投資の主な目的だった時代においては、顧客に密着して既存業務の内容を把握するとともに、顧客の要望をもれなくシステムに反映することが重要でした。

しかし今後は、知識やノウハウを様々な機会を通して習得し、デザイン思考やファシリテーション等のスキルと最新のITを駆使して新しいビジネスモデルを創造・提案し実現していくことが求められています。

このような変化に対応するためには、多くの若者や優秀な人材が情報サービス産業での活躍を目指すよう「魅力ある産業」にならなくてはなりません。

しかし、われわれ情報サービス産業は仕事の特性や多重下請構造から他産業と比較して労働時間が長い傾向にあります。

## 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 次長 佐藤 和男 様



新年あけましておめでとうございます。また、日頃より経済産業行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨近の経営事業環境におきましては、with コロナの下、社会経済活動の再開が進む一方で、国際的な原材料価格の上昇等厳しい環境に直面しております。

こうした局面を乗り越え、中長期的な経済成長に向けて、政府としては民間の投資を呼び込み、イノベーションによって生産性を上げ所得を向上させるなど、投資とイノベーションと所得向上の3つの好循環の実現を掲げ、今般の補正予算におきまして、政府全体で7兆円規模の挑戦的な支援投資や1億円規模のスタートアップ支援を盛り込みました。

業界全体として「働き方改革」を通してその具現化に向け、積極的に改革に取り組んでいく必要もございます。会員の皆様のご協力よりお願いいたします。

また現在、令和5年度から推進する第9次中期事業計画を策定中ですが、目指す姿 (VISION) として「地域社会の高度情報化の促進」すなわち「当地域のICT利活用を促進することで地域経済を底上げする」という命題がございます。

「当地域のICT産業を成長・発展させることで雇用を増やし地域経済を盛り上げる」それが最大の地域貢献であることの認識に立ち、会員企業各社のビジネスが少しでも拡大するよう「新たなビジネスチャンスの創出」「経営強化に資する施策」に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

それにしましても、コロナが早く収束しMISA計画事業が皆様のご期待通り推進できることを願うばかりでございます。

MISAは東北および県内最大のIT業界団体であり、経済産業局、宮城県、仙台市等公共関連機関との密接な協力関係にもございます。一層のご協力・ご支援を賜りたくよりお願いいたします。

最後になりましたが、MISA及びご参会の皆様のみますのご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

こうした施策と併せて、クラウドやサイバーセキュリティの産業基盤の確保やデジタル時代の社会インフラ整備に向けた長期計画の策定、半導体、蓄電池を含むデジタル人材の育成など、3つの好循環を生み出す環境基盤として、デジタル社会の実現に向けた取り組みを着実に進めていくこととしております。

また、我々東北経済産業局では昨年、組織理念として、「共感」「協奏」「変革」で、ともにつくる東北」を掲げました。「協奏」は協力して奏でるということでございます。各地のキーパーソンと出会い、つながりを大切にしながら、次世代の東北づくりを皆様と一緒に進めてまいりたいと思っております。

また最後になりますが、この場を借りてご協力のお願

いがございます。今年は東日本大震災から12年目を迎えますが、経済産業省では、先月水産業の本格的な復興に向けて、「魅力発見!三陸・常磐モノづくりネットワーク」を立ち上げました。産業界、自治体から広く参加を募り水産物の売り手と買い手をつなげて消費拡大を図るという取り組みでございます。ぜひ皆様におかれまして

は「魅力発見!三陸・常磐モノづくりネットワーク」と検索の上、ご参加をよろしく願います。

結びになりますが、宮城県情報サービス産業協会のますますのご発展と本日ご参会の皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願います



宮城県経済商工観光部 副部長 佐藤 洋生 様

## 来賓挨拶

明けましておめでとうございます。3年ぶりの賀詞交歓会の開催、心よりお喜び申し上げます。本日、部長の千葉がご挨拶に伺う予定でしたが、急遽出張が入りまして代理での出席となりました。千葉は、部長拝命3年目に初めて皆様にお目にかかることを楽しみにしておりましたが、実現なりません大変残念とのことでした。何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

さて、県では県内中小企業のデジタル化と県内IT産業の振興をより一層効率的かつ効果的に進めるため、昨年4月に産業デジタル推進課を立ち上げ、デジタル化・DXの実行支援やデジタル人材の育成・確保、さらには起業支援やスタートアップの促進を図っているところでございます。特に貴協会の皆様には県内中小企業のデジタル化の受付窓口としてアドバイザー派遣などのご協力をいただいております、この場をお借りし、円滑な事業運営に厚く御礼申し上げます。

これからは、先進的技術の活用や異分野との融合など、これまでにない新しい視点でデジタル化・DXが急速に

進んでいくものと思われま。貴協会に委託して実施しております新卒者等未経験者及び中堅層向けIT技術者育成支援や地域高度IT技術者育成支援などの人材育成事業をご活用いただきながら、新たなビジネスチャンスの獲得につなげていただければと期待を申し上げます。

県といたしましては、今後も貴協会及び会員企業の皆様と富県宮城の実現に向けた取り組みの重要なパートナーといたしまして、連携を進化させながら事業展開を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会と本日ご参会の皆様にとりまして、本年が実り多き良き年となりますこと、そして新型コロナウイルス感染の早期収束による社会経済活動の一日も早い正常化が実現しますことを祈念申し上げます。本年もよろしく願います。

本年もよろしく願います。



仙台市経済局 産業政策部 次長 今村 欣也 様

## 来賓挨拶

本日3年ぶりに、賀詞交歓会が一堂に会してリアルで開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また、皆様方におかれましては、昨年より就任されました阿部会長のリーダーシップの下、地域情報サービス産業の振興、発展にご尽力いただいておりますことに厚

く御礼を申し上げます。

仙台市といたしまして、仙台・東北のIT産業の振興に引き続きしっかり取り組んでまいりたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしく願います。

さて、本市の郡市長が、年頭の記者会見におきまして、

出発の「発」の字を今年の一字に掲げております。これまで取り組んできたまちづくりの成果を基礎として、仙台市を次のステージに進めるための新たな一歩を踏み出すための出発の年にしたいと、市民の皆様にお伝えしたところでございます。

今般、地域経済においては、デジタル化の重要性がこれまでになく高まっております。デジタル化、またDXによる競争力の強化を実現し、地域産業が新しいステージへと出発するためには、ICT産業に関わる皆様方がますます必要になると考えております。

仙台市といたしましても、本市の経済成長戦略に基づきましてクロステックを推進し、取組の基礎となるICT産業のさらなる振興、またAIをはじめとする先端ICT技術を活用し事業を成長させることが出来る人材の育成にも取り組んでいるところでございます。

また、ICT人材の確保に向けましては、今年度より、

貴協会の人財委員会の皆様との連携を強化しております。教育機関へ合同で訪問し、MISA会員の紹介、また学生の就職活動のヒヤリングを実施いたしました。11月には、学生向けにICT業界研究セミナーを開催した他、2月には、地域企業40社による学生向けのIT業界説明会を開催する予定としております。

これらの取組におきましては、多くのMISA会員企業の皆様にもご参画いただいております。仙台・東北の情報サービス産業のさらなる振興に向けまして、東北経済産業局様、宮城県様、東北大学様、そしてMISA会員企業の皆様と共に新たな一歩を踏み出す年としたいと考えておりますので今後ともご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会のますますのご発展と本日ご参会の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



# MISA 会員向けアンケート調査結果について

現在、情報サービス産業はほとんどの業種と関わっており、DX対応やアフターコロナの需要も相まって売り上げは毎年増加傾向にあり、数少ない成長産業の一つと言われています。

しかし、情報通信技術の著しい進展に伴い業態は複雑化している状況にあり、本格化するDX時代に対応するための高度化・多様化するニーズに応える体制整備、外部リソースとの共創やオープンイノベーションによる新たな付加価値の創出が不可欠となっています。

それらは我々情報サービス産業の経営環境にも大きな影響を与えていることも踏まえ、経営委員会ではMISA会員企業の実態について昨年に続きアンケート調査を実施

しました。

今回は、業績、経営課題、雇用・人材、採用状況、グローバル人材などの他に、新たに働き方改革を追加しその現状を調査、118の企業から回答を得ました。(回答率61%)

特に経営課題に対しては、昨年に続き90%以上が「雇用・人材」の課題を抱えており、今後のビジネス拡大の観点から、深刻な対応が求められていると思われます。

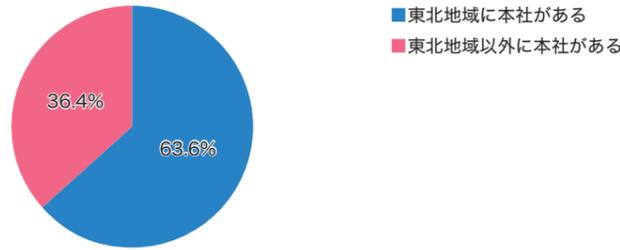
なお、本結果は全調査の中から抜粋して掲載しておりますので、詳細はホームページを参照ください。

(<https://www.misa.or.jp/>)

(調査実施期間：2022年10月11日～10月31日)

## 本社所在地 東北に本社所在地を持つ企業が約60%強を占めている

設問 1-1 貴事業所の本社所在地を回答下さい。  
118件の回答



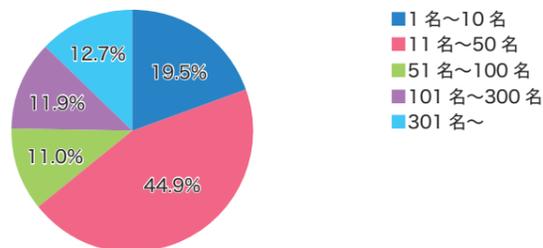
## 資本金 1億円未満の企業が70%強となっており、中小企業の占める割合が多い

設問 1-2 貴社の資本金を回答下さい。  
118件の回答



## 従業員数 100名以下の企業が約75%を占めている

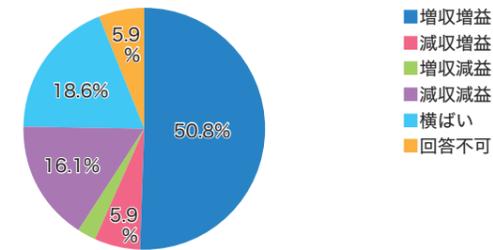
設問 1-3 貴事業所の従業員数(正社員数)を回答下さい。  
118件の回答



## 前期と前々期を比較した売り上げ増減率

70%弱が増収または横ばい、20%強が減収と回答しており、比較的に顕著に推移しているものと思われる

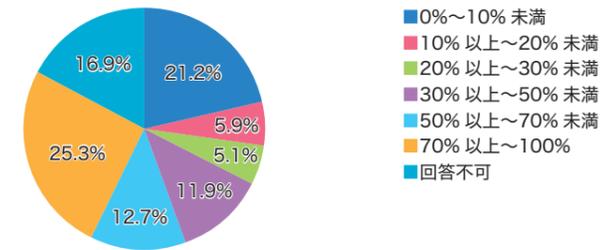
設問 2-2 貴事業所の前年度と前々年度を比較した前年度の売上高の増減率を回答下さい。  
118件の回答



## 同業者取引の割合

売上げの50%以上を同業者取引としている企業が60%近くを占めており、依然同業者取引の割合が多い

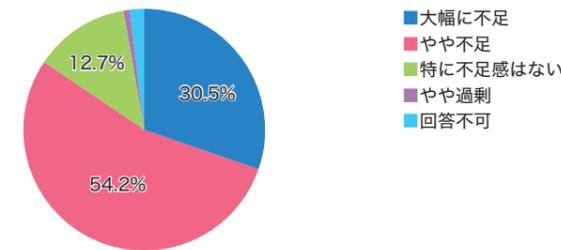
設問 2-3 貴事業所の前年度売上高に占める「同一業種企業からの受託開発金額」割合を回答下さい。  
118件の回答



## 人材の不足感

80%強が大幅不足、やや不足と答えており、人材不足が深刻となっている

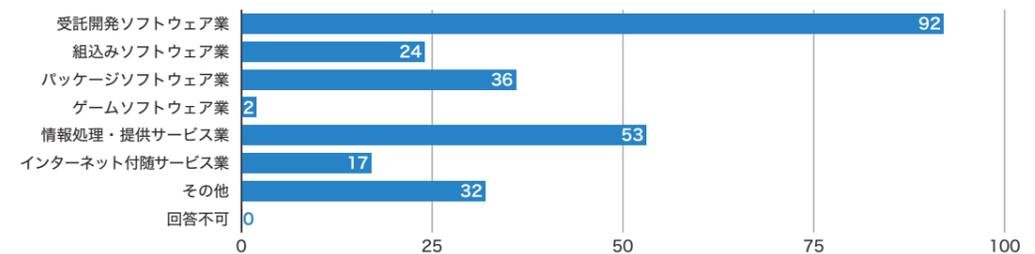
設問 5-1 貴事業所において、人材の不足感がありますか。  
118件の回答



## 業種

関わっている事業では受託開発ソフトウェア業が最も多い

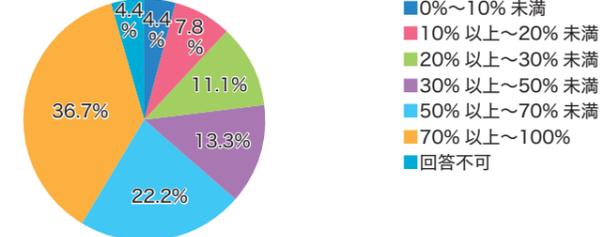
設問 1-4-1 貴事業所の業種を全て回答下さい。  
118件の回答



## 「受託開発ソフトウェア」の売り上げ割合

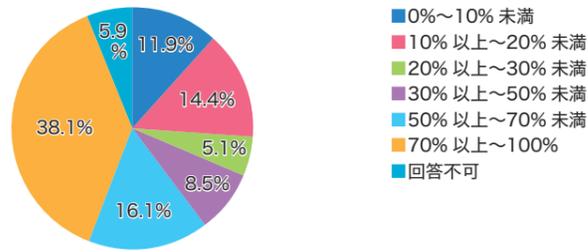
受託開発ソフトウェア売上が50%以上を占める企業が60%を占める

設問 1-4-3 [設問 1-4-1] で「受託開発ソフトウェア業」を選択時、売上割合を回答下さい。  
90件の回答



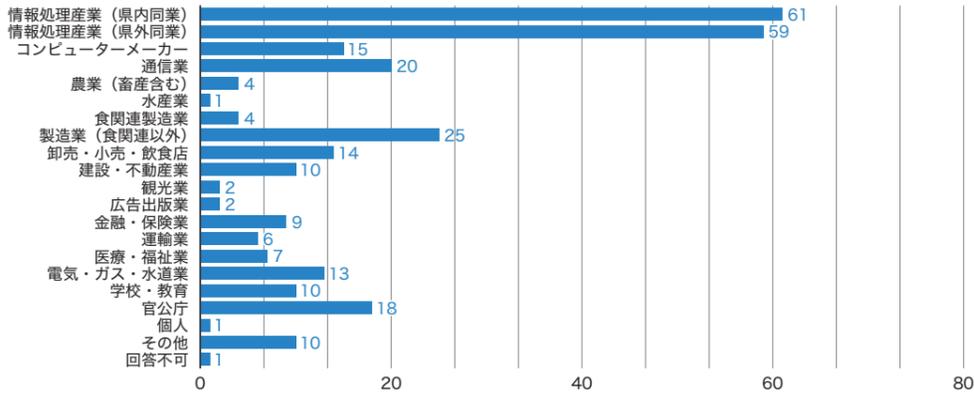
### 東北地域の売り上げ構成 70%以上の回答が40%強と最も多い

設問 3-1 貴事業所における東北地域の売上構成比を回答下さい。  
118件の回答



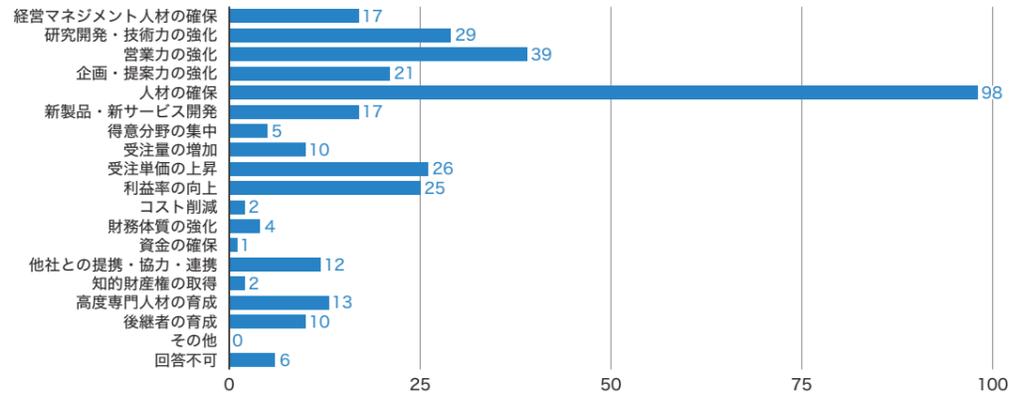
### 主な取引先 同業者が最も多く、製造業、通信業、官公庁と続く

設問 4-1-1 貴事業所の主要な取引先の業種、売上額上位3つまで回答下さい。  
118件の回答



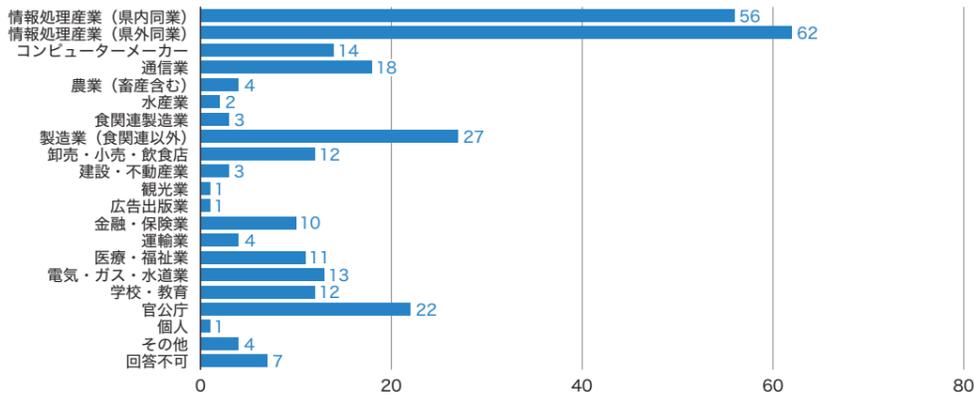
### 抱えている経営課題 「人材確保」が100%近くと圧倒的に多く、「営業力」「技術力」と続く

設問 4-6-1 貴事業所の現在の経営課題、上位3つまでを回答下さい。  
118件の回答



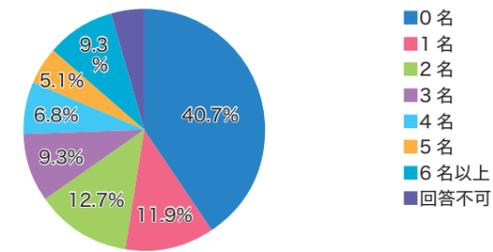
### 今後注力する分野 情報処理産業 (県内・県外) が断然多く、製造業、官公庁と続く

設問 4-2-1 貴事業所が今後注力予定 (拡大予定) 取引先の業種、上位3つまで回答下さい。  
118件の回答



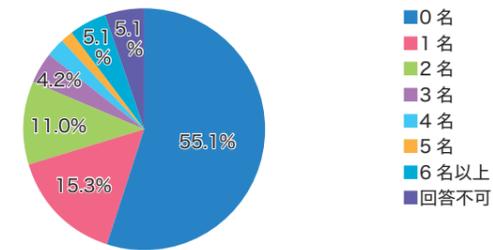
### 今年度の技術系の採用状況 約60%の企業が採用しており、1名から2名採用が25%と最も多い

設問 6-1 今年度、県内での技術系の新規採用は何名でしたか。  
118件の回答



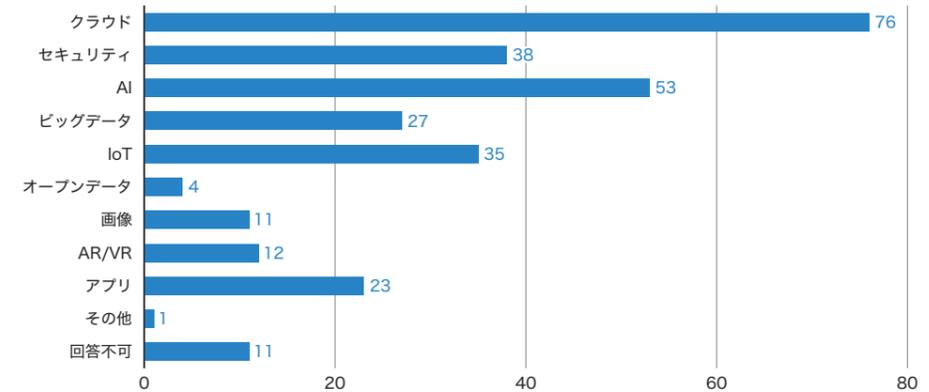
### 技術系の中途採用 45%の企業が1名以上の中途採用を実施している

設問 7-1 今年度、県内での技術系の中途採用は何名でしたか。  
118件の回答



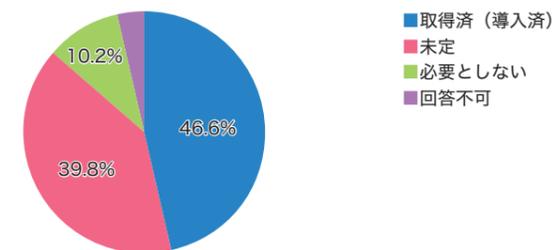
### 注目している分野・テーマ クラウドが最も多く、AI、セキュリティ、IoTと続く

設問 4-7-1 貴事業所で注目している分野、テーマ等を3つまで回答下さい。  
118件の回答



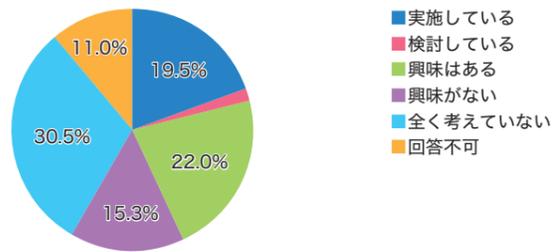
### ISO/IEC27001の取得状況 約50%の企業が取得済みとなっている

設問 8-3 ISO/IEC27001 (情報セキュリティシステム) の貴社の状況を回答下さい。  
118件の回答



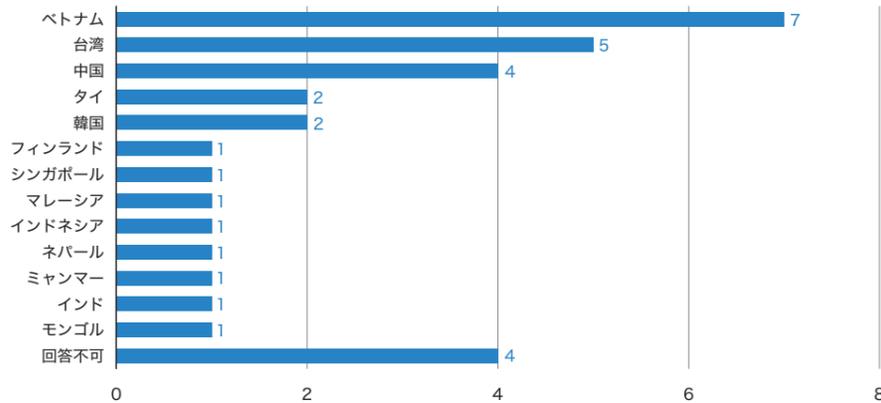
**海外とのビジネス連携** 実施しているが20%弱、検討中及び興味があるが50%となっている

設問 9-1-1 貴事業所の海外企業とのビジネス連携を回答下さい。  
118件の回答



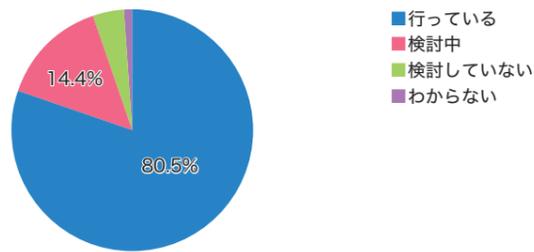
**海外取引対象国** ベトナム、台湾、中国、タイ、韓国と続く

設問 9-1-3 「実施している」または「検討している」において、対象国を回答下さい。  
23件の回答



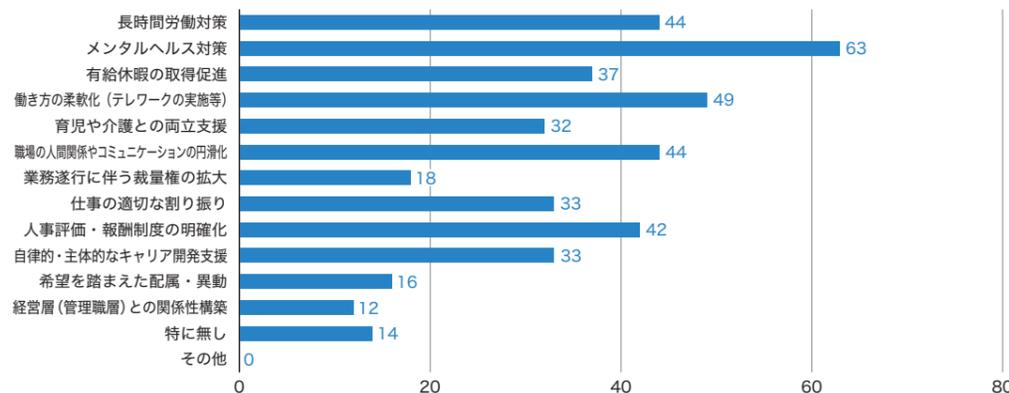
**働き方改革への取組状況** 80%が何らかの取組みを実施している

設問 10-1 貴社では働き方改革に関する取組みを行っていますか。  
118件の回答



**働き方改革の課題** メンタルヘルス、テレワーク、コミュニケーション、人事評価対応などの関心が高い

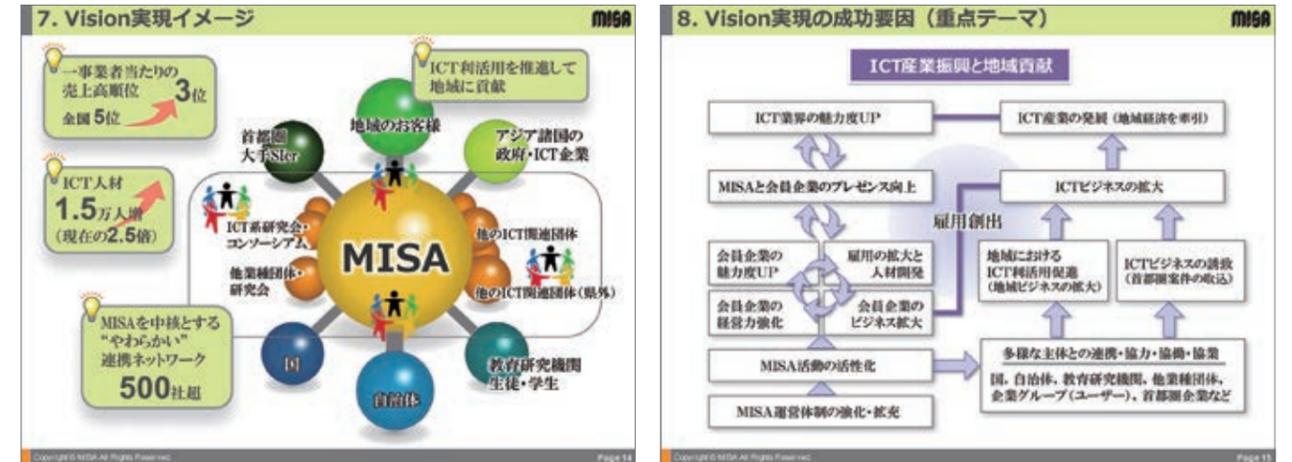
設問 10-2-1 従業員の働き方で課題となっていることを全て回答下さい。  
118件の回答



**第9次中期事業計画(令和5~7年度)が確定(詳細はHPを参照)**

○目指す姿 (MISA-Vision)

『ICTを地域の力に』～地域の明日を担う魅力あるICT産業を目指して～



○主な重点施策

1. 政策提言によるMISAのプレゼンス向上

関係自治体との協力体制を強化し、地域ICT産業振興のための課題検討を行いながら、適切な政策提言

2. 地域中小企業のICT活用推進

加速化する地域中小企業のDX化による産業構造の変革に対し、産・学・官・他団体等と連携しながら対応が必要な施策に取り組む

3. ICT業界の採用力向上

教育機関との一層の連携により、就職を控えた学生への啓蒙活動を通し認知度・魅力度向上に取り組む

4. 人材確保・育成

今後確実に進展する先進技術活用による産業構造変革に対応出来る高度IT人材育成を教育機関と連携し取り組む

5. 会員企業のコミュニケーション強化

会員に時代の変化に対応した最新技術・経営情報の提供を行っていきと共にプレゼンス向上に向けた外部向け情報発信を積極的に行う

6. MISA組織運営強化

各事業の再評価等を行うと共に事業運営をさらに進化させ、会員企業への貢献・効果向上を図っていく

※以上の施策を基本に年度計画を策定・推進していくこととします。

# 2023年度 委員会別事業計画

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営 (企画G)	・情報化支援・啓蒙 ・会員増強 ・総会・賀詞交歓会	・事業運営会議(第1回) 委員会	・理事会(第43回) ・理事会(第44回) ・第12回総会・講演会	委員会	委員会	・事業運営会議(第2回) 委員会	・顧問・参与懇談会	・事業運営会議(第3回) 委員会		・理事会(第45回) ・賀詞交歓会(予定) ・講演会		・理事会(第46回) ・事業運営会議(第4回) 委員会
経営 (経営G)	・経営強化 ・会員企業の現状アンケート調査分析・フォローアップ(実施内容検討)	テーマ選定 ・MISA交流サロン 委員会		講師依頼 ・交流会 ・Misaliy女性交流会 委員会		・MISA交流 サロン 委員会	・交流会 ・親睦ゴルフ大会(秋季)	・アンケート ・交流サロン 委員会	・法的問題対応セミナー ・理事会(第46回)	・交流会 ・Misaliy女性交流会		・MISA交流サロン 委員会
人財 (確保G)	・学生向け啓蒙活動 (1) 業界研究講座(随時) (2) インターンシップ ・企業向け支援活動 (1) 新卒者対象企業説明会 (2) UIJターン事業 (3) 企業情報の提供 (4) 人材紹介 ・産学連携懇話会 大学等との連携会議他		(随時対応)		・インターンシップ体験型実践的研修							
人財 (育成G)	・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術紹介) ・人財育成活用分科会 ・次世代研修	研修実施 ①②③			研修実施 ④ ・技術紹介 ・研修会	・ステップ アップ研修 (次年度計画検討) ・中堅社員研修(1)		・中堅社員研修(2) ・技術紹介 ・研修会	○会員アナウンス ・中堅社員研修(3)		(準備)	
福利厚生	・交流・レクリエーション関連 ① スポーツイベント等開催 ② 船釣り大会開催 ③ 新企画・検討 ・ヘルスクエア ・他機関事業のMISA会員への紹介 ・福利厚生事業の広報活動	・新人向研修 ・メンタルヘルス (HP、情報誌等活用による広報展開)	・船釣り大会①	・フットサル開催(夏大会) ・企画検討会		・企画検討会	・フットサル開催(秋大会) ・船釣り大会②	・企画検討会	・船釣り大会③	・企画検討会		
事業共創	・新規事業ノウハウ・ナレッジ アイデアソン、セミナー等開催 ・事業テーマ別部会 ・大学・行政連携タスク ・他業界団体・協会等連携	○		○		・シンポジウム開催		○		・説明会開催		
ビジネス推進	・ビジネスチャンスの創出・地域貢献 ・行政との連携 ・営業活動											
グローバル ビジネス	仙台市と連携した海外の業界団体および企業との連携事業 ・ICT CONFERENCE 2023 ・留学生授業参観&意見交換会					・人材採用 ・双方 向ビジネスの模索						・イベント開催 ・イベント開催
広報	(協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、会員企業データベースの再構築検討、MISAホームページの戦略的活用、MISA SNSの戦略 的活用、PR動画活用による広報活動等) ・情報誌発行(第53号) ・PR動画による認知度向上						・情報誌発行(第54号)					
政策提言	・政策提言検討推進等											
組織基盤強化	・中期事業計画の円滑な推進 ・産業構造変化への対応等									・理事会報告		
事業運営強化	・地域高度IT技術者の確保・育成											

事務局からのお知らせ

### 宮城県情報サービス産業協会(MISA)と中華民国情報ソフトウェア協会(CISA)が協定書を締結

MISAは2022年11月25日、CISAと双方の情報サービス産業支援の協力について協定書を締結しました。

協力目的は、双方が情報サービス産業発展の促進及び関連するイベント等の協力推進を図っていくもので、当協会が中華民国と協定を結ぶのは東北地域の情報サービス産業協会としては初めてとなります。

グローバル化への対応としてグローバル委員会を中

心に2019年からCISAと協議が行われ、締結式は台北市のオークラプレステージ台北ホテルで仙台市産業振興事業団及びMISA関係者並びにCISA関係者が出席し、阿部会長と沈理事長が協定書に署名しました。本連携により、仙台市と宮城県情報サービス関連企業のさらなる振興が期待されます。

主な協力分野は下記のとおりです。

- ① 情報サービス産業関連資料の収集及び交流
- ② 情報サービス関連企業のマッチング、イベントの開催等交流
- ③ 双方が開催する会議、イベント、展示会等について、広報など支援協力
- ④ その他双方が同意する必要がある事項

※中華民国情報ソフトウェア協会（CISA）とは

○協会概要

・ 中華民国の全国の情報、ソフトウェア、インターネット関連産業の専門的団体

○設立

・ 1983年設立、国内最も歴史あるハイテク協会の一つ

○会員構成

・ 情報、ソフトウェア、インターネットの開発、販売やサービス企業及び外国の関連団体等

○その他

・ 全アジア情報産業組織「アジア・オセアニア・コンピューティング産業機構」の代表

・ 世界情報業者連合「世界情報サービス産業機構」の常任理事

<https://www.cisnet.org.tw/jp/home>



委員会報告

## 第43回 MISA 親睦ゴルフ大会

経営委員会

開催日：2022年10月15日（土）

場所：松島国際カントリークラブ

第43回MISA親睦ゴルフ大会は、「松島国際カントリークラブ」にて開催しました。

初めての開催コースでしたが、当日は天候に恵まれ、景観、コンディションも良く、楽しくプレーすることができました。

14組52名（内、初参加5名）が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成績】（敬称略）

- 個人戦 NET HC
- 優勝：穴沢芳郎(線上) (35.6) (8.4) MISA事務局
- 準優勝：伊藤 倫泰 (34.8) (7.2) (株)メディア・サポート
- 第3位：菅野 直 (35.4) (3.6) バイスリープロジェクト(株)
- 第4位：飯塚 達也 (36.2) (4.8) テクノ・マインド(株)
- 第5位：菊田 明洋 (36.2) (4.8) (株)ソフトエイジ

- 団体戦（上位3名のNET合計） NET合計
- 優勝：伊藤 倫泰、佐々木 俊也、高橋 純、木村 香次 (108.6)
- 準優勝：飯塚 達也、新田 雅、一ノ瀬 哲司、阿部 匠 (110.4)
- 第3位：穴沢 芳郎、菊池 一宏、伊藤 正則、小泉 喜範 (112.8)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰パーティは行わず、前半9ホールでのスコアにて集計。



私たちがTOiNX（トイックス）は、ITで実現する新たな価値を社会に届け続けます。

ともに手をととりあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかり支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。

# ITで、感動を、ともに。



株式会社トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北  
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

## 委員会報告

## 「地域活性化アイデアソンイベント」～IT×アイドルで仙台をもっと盛り上げる～

事業共創  
委員会

2023年2月19日（日）INTILAQ東北イノベーションセンターにてリアル開催いたしました。

当イベントでは、参加者の皆様から必要とされている要望（新規アイデアのヒントが欲しい、各企業や大学の若手同士でディスカッションしたい、新規事業やアイデアを考えるフレームワークを習得したいなど）を実現するため、IT×アイドルという異業種の新結合による地域活性化に繋がる新しいアイデアを想像すること、ワークショップを通じて新規事業を想像するためのプロセスを習得することを狙いとし実施いたしました。

今回ファシリテーターを務めてくださったINTILAQ東北イノベーションセンター長の佐々木様の進行の

と、参加者の皆様と地元で活躍をされているアイドルの皆様がチーム一丸となって意見を出し合い、最後にチームごとにアイデアを発表しました。

当イベントを終えて「他地域でもやりたい」、「社内イベントで活用してみたい」、「実際にビジネスとして考えてみたい」など参加者の皆様からは非常に満足度の高い感想を頂いたアイデアソンとなりました。

最後に今回ファシリテーターを務めてくださった佐々木様、登壇者のEarthAce-SND、仙台flavor、ヤンチャン学園SENDAI、杜の都女子音楽院の地元アイドルの皆様、後援協力を頂いた国立研究開発法人情報通信研究機構、東北経済産業局、仙台市の皆様にも心より感謝申し上げます。



## 事務局からのお知らせ

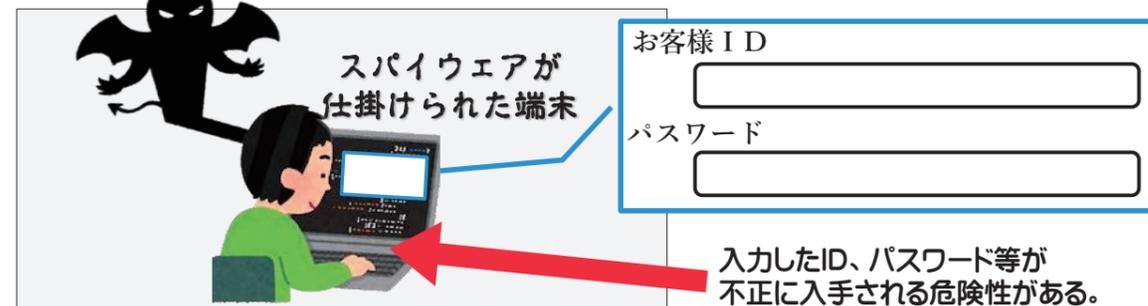
## サイバーセキュリティ

# CyberNews

令和5年1月  
宮城県警察本部  
サイバー犯罪対策課

## インターネットカフェ利用時の注意

インターネットカフェにて…



インターネットカフェの端末にスパイウェア等が仕掛けられていた場合、入力したパスワード等が不正に入手される危険性があります。

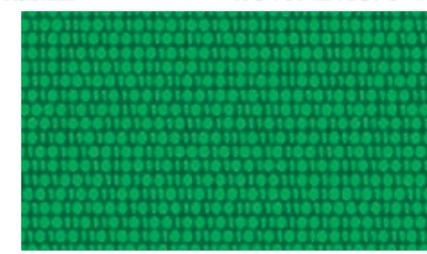
**個人情報を入力することの危険性について理解をしましょう。**

サイトにログインした場合は「ログアウト」



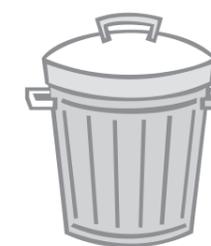
ログイン状態のままにしておくのは危険です。  
必ず「ログアウト」しましょう。

履歴、Cookie情報を削除する



ウェブブラウザに保存された履歴や、Cookie情報を残さないように、必ず削除しましょう。

ゴミ箱を空にする



最後に、ゴミ箱に情報を残していないかも確認しましょう。

このようなことに注意して  
安全に利用しましょう！



# MISA 会員企業 NEW 技術情報 Part10



## クラウドネイティブ コンテナオーケストレーションツール Kubernetesで圧倒的な スケーラビリティとコスト削減を実現

クラウドサービスでアプリケーションを構築する場合、仮想マシン（VM）を利用することが通常のやり方です。仮想マシンではハードウェアのリソースをLinuxやWindowsなど複数のOS環境に分けて、それぞれで仮想マシンが稼働します。使いやすくすぐに利用開始できる一方で、仮想マシンが増えることで更新やシステム モニタリングなどのメンテナンスを仮想マシンごとに行わ必要があります。一般的なクラウドの利用方法としてこの手法がスタンダードと言えます。

一方でコンテナ技術を利用する最先端のクラウドサービスが注目されています。コンテナは、ハード上のOSが1つであり、その上でいくつものコンテナが稼働する仕組みになっています。コンテナ上で稼働するアプリはOSから分離しておりリソースを有効活用できるのです。コンテナのメリットは高速起動性です。リソースが軽量であることも強みです。オーバーヘッドが少なくハイパフォーマンスを実現します。

仮想サーバー同様にコンテナにおいても複数サーバーに配置されたコンテナが増えてくるとは課題となるのですが、コンテナオーケストレーションツールを利用することができ、この運用負荷を大幅に軽減できるのです。コンテナオーケストレーションツールのKubernetesは、たくさんのサーバーに存在するコンテナを一括して管理・運用するための機能が揃っています。



1. コンテナの死活監視は、コンテナが停止していないかを監視します。
2. 複数コンテナホスト管理は、コンテナが配置されているサーバーを管理し、容易に取得できます。
3. オートスケーリングは、起動中コンテナの負荷状況により自動的にスケールのインアウトを行います。
4. コンテナのスケジューリングは、サーバーの負荷状況から適したサーバーを選び自動的に配備します。
5. サービスディスカバリは、各サーバーで稼働中コンテナを自動識別しコンテナ間通信を容易にします。
6. 障害時の自動復旧は、障害でコンテナが停止した時にそれを破棄し新たなコンテナを起動します。



弊社ではオープン・ソース・ソフトウェアのKubernetes（クバネティス）を利用したQuality Cloud System（QCS）をデータセンターに構築して自社のSaaSサービスをこのクラウドネイティブな環境で実現しすでに2500社以上の企業に提供しています。

このKubernetesを利用したクラウドネイティブなクラウドサービスが、日本でもデファクトスタンダードになると予想して技術開発を加速させています。併せてクラウドネイティブなSaaSサービスの開発を続けており、次々と新たなSaaSサービスをリリースする計画です。

弊社ではこのクラウドネイティブな環境を体験する仕組みがありますので、ご興味のある方はお気軽に連絡を。一緒に勉強してみませんか。

クオリティソフト株式会社 飯島  
k.iijima@qualitysift.com

QualitySoft クオリティソフト株式会社

# MISA 会員企業 NEW 技術情報 Part11

## 話題の chatGPT 試してみました！

今IT業界で最もホットな話題といえば「chatGPT」ではないでしょうか。メディア等でもいろいろと話題にされているのでご存知の方も多いと思います。実際はIT業界に留まらず、あらゆる分野で利用されると目されています。

私自身もここ数ヶ月使ってみていると思うところがありましたので、そのあたりを今回記事にしたいと思います。

私が考えるに従来のAIチャットやgoogle検索との違いは以下の3つがあると思います。

### (1) 自然言語での会話が可能

google検索のキーワード検索ではなく、自然な会話文でやりとりが可能。特に日本語特有の表記のゆれや、省略、主述の逆転、体言止め、若者言葉、方言などかなり柔軟に対応してくれます。返答も表現が難しければ「小学生にもわかるように説明して」のように注文すればそのように返答してくれます。

### (2) 前後の文脈を理解する（会話のキャッチボールが出来る）

単なる一問一答形式ではなく、人間のように会話の流れに沿った話の展開が出来ます。話のポイントで深掘りさせたり、わかりやすく説明を加えさせたり、言い換えを促したり、具体と抽象を交えたり、会話の蓄積を前提として話を展開することが出来ます。

### (3) AIが考えて選択した最適な答えを複数提案

google検索のように単なる候補となる関連サイトの羅列ではなく、AI自身が選択、アレンジした普遍的で、抽象度の高い回答や提案が得られます。しかも同じ質問でも全く同じ回答はなく、日々進化している気がします。哲学的なテーマで問いかけてみるとそれが実感できたりします。

紙数の限りがあるので、業界人として最も関心のあるプログラム関係のチャットをデモしてみましょう。

### 1. プログラム作成



このように仕様を与えれば指定の言語でプログラムを書いてくれます。不足であればどんどん追加で仕様を追加していけば人間のように仕様変更を嫌がるでもなく、複雑なプログラムを作ってくれ、適切な説明も加えてくれます。

### 2. デバッグ



自分で作ったプログラムもデバッグしてくれます。動作するプログラムであってもエラー処理がどうの、可読性がどうのともっともなアドバイスをくれたりもします。

### 3. テスト仕様書作成&テストデータ作成

条件文を多く含んだ複雑なプログラムは分岐の組み合わせに応じたテストパターンが洩れなく必要になります。そのテスト仕様書を作成するのも難儀なものです。プログラムを解析してそれも作成してくれます。又、実際にそのテストパターンに応じたテストデータを作成するのもこれまたプログラムを作成するのに劣らず大変ですが、これを手助けしてくれます。

### 4. 設計支援

例えば種々雑多な商品名が登録してあるマスタから商品特性から分類マスタを作成してくれたり、要件定義を与えたシステムのテーブル設計や項目の洗い出しまでやってくれます。

まだまだ発展途上のAIではありますが、今後我々の有力な相棒となってくれる予感があります。無料なのでまずは触って試して実感してみましょう。（ちなみにこの記事は全部自分で書いてます）

scripted by 有限会社マインドアクセス  
担当：今野 (t\_konno@mindaccess.com)

# 会員異動状況 (令和4年10月1日以降の入会関係)

■ 正会員-入会 
 ■ 賛助会員-入会 
 会員数 (正会員……193社 賛助会員……38社)

入会日	会員名 (代表者名)	住所 TEL・FAX
11月14日	MUSASI D&T(株) (代表取締役 佐藤 里麻)	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-13 東山設計ビル 3F TEL 022-281-9023 FAX 022-281-9024
11月24日	オリオシステム(株) (代表取締役 志賀 勝雄)	〒980-0011 仙台市青葉区上杉 3-4-5 2F TEL 022-713-8255 FAX 022-713-8277
3月1日	(株)NSD (執行役員開発サポート本部長 川内 達夫)	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-101 ワテラストワー TEL 03-3257-1130 FAX 03-3257-1131
3月1日	(株)クロコ (代表取締役 森 啓太)	〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 4F TEL 022-397-9123 FAX 022-397-9124
3月3日	ストラテジーテック・コンサルティング(株) (代表取締役 CEO 三浦 大地)	〒036-8182 青森県弘前市土手町 31 土手町コミュニティパークB館 ちちそうプラザ内 TEL 090-4715-2503
4月14日	(株)ロジーワイズ (代表取締役社長 鷲塚 義憲)	〒983-0862 仙台市宮城野区二十人町 303-10-402 TEL 080-9039-3369
12月5日	(株)ワールドインテック (SI 事業部新規開発課長 齋藤 謙治)	〒105-0021 東京都港区東新橋 2-14-1 NBF コモディオ汐留 4F TEL 03-3433-6621
4月1日	東北発電工業(株)利府技術訓練センター (所長 長谷川 功)	〒981-0113 宮城郡利府町飯土井長者前 55 TEL 022-261-5431 FAX 022-268-9938

(敬称略)

## MISA 第12回通常総会 開催のご案内

- 開催日時 : 令和5年6月15日(木)  
 通常総会 : 14:00~15:30  
 講演会 : 15:40~16:50  
 交流会 : 17:10~19:00
- 会場 : TKP ガーデンシティ仙台 (AER)

## MISAフォトコンテスト結果報告

MISA 会報53号フォトコンテストに、会員企業15名の方より34作品のご応募をいただきました。テーマ:「宮城の〇〇」とし、グランプリ、準グランプリ2作品と佳作11作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。



準  
グランプリ

禿岳  
(株)東北電子計算センター  
大場 健 様



一目千本桜と  
白石蔵王  
システムニコル(株)  
田代 紀生 様



佳 作  
(順不同)

- |                |               |         |           |              |           |
|----------------|---------------|---------|-----------|--------------|-----------|
| 夏の夕暮れの釜房ダム     | 日立Astemo仙台(株) | 萱場 史成 様 | 日昇を背に飛び立つ | (株)トレック      | 柴崎 健一 様   |
| みやぎ応援ポケモン・ラプラス | (株)フジビジネスセンター | 鹿野又 寛 様 | 重要文化財     | (株)アイティフラッグス | 佐藤 美鈴 様   |
| 金華山を望む         | (株)アート・システム   | 鳥澤 強志 様 | 宮城の朝日     | (株)トインクス     | 渡部 勇一 様   |
| Oh!!ダブルレインボー   | (株)アート・システム   | 菅原 壮浩 様 | 白石川堤一目千本桜 | (株)アド・エータイプ  | 菅原 涼 様    |
| 松島西行戻しの松公園     | (株)アート・システム   | 鹿目 仁 様  | 厄よ去れ去れ    | サイバーコム(株)    | 佐々木 孝一郎 様 |
| メジロ            | (株)アイティフラッグス  | 久保 哲雄 様 |           |              |           |

※受賞作品はMISAホームページに掲載